

2014年4月21日

食物アレルギーの事故防止に新たなチャレンジ

安八郡輪之内町立 仁木小学校（校長 新田 直）

食物アレルギーの事故を未然に防ぎ、万一の場合に備えるための真剣な取り組みが全国の学校で行われています。多くの学校がヒヤリとする場面に直面した経験を持ち、地域や学校で日々改善の努力が続けられています。岐阜県安八郡の輪之内町立仁木小学校では、食物アレルギー事故防止対策のひとつとして ICT を活用した学校給食のアレルギー管理システム（商品名アレンジャー、株式会社スフィアプロジェクト）を導入し、新聞やテレビの報道で話題となりました。現段階では試験的な導入となっていますが、全国初のチャレンジです。

学校保健会ニュースでは、4月10日、仁木小学校を独自に訪問し、同校教頭の増田浩志先生にインタビューを行いました。食物アレルギーの事故防止に取り組む全国の読者の皆様に、インタビューの内容を詳しくレポートします。



仁木小学校教頭 増田浩志先生

■ ICT を活用した学校給食のアレルギー管理システムとは？

学校給食成分のいずれかにアレルギーのある児童、生徒のリストが、毎日パソコンに表示されるシステム。クラス担任は自分のクラスの該当者をパソコンの画面で確認し、保護者と連携して当日の対応を行います。また、教頭のパソコンでは全クラス担任のシステムチェック状況を確認することができ、対応もれを防ぐ仕組みとなっています。

■ テスト導入決定までの経緯

岐阜県は、IT を中心とした新産業の創造に力を入れており、新しいパソコンソフトの発表イベントが数多く開催されています。輪之内町教育委員会の関係者が、学校給食のアレルギー管理システムを発見したのもそのイベントのひとつでした。アレルギー管理システムの可能性を見出した人物がテスト導入を打診したのは、ICT 環境の強化に積極的な仁木小学校でした。新田校長は教職員の負担の増加を懸念しましたが、パソコン操作や作業が簡単であることを確認し、今年 2 月に実施を決定しました。

■ システム導入のプロセス

仁木小学校では、アレルギー管理システムの導入に先立ち、学校保健安全委員会を開催しました。食物アレルギー事故防止対策の現状や課題の再確認を行い、アレルギー管理システムのテスト導入について、学校医、学校歯科医師など出席者の積

極的な賛同を得ました。管理システムは、全職員を対象とする研修を経て、3月に導入されました。

■ システム導入後の変化

仁木小学校では、日々の給食成分表と児童のアレルギーを照らし合わせ、該当する児童の保護者と連携して給食センターへの指示を行ったり、昼食を持参するなどの対応を行ってきています。アレルギー管理システムの導入も基本的な対応は変わりませんが、アレルギー情報を照合して対応すべき児童を特定する日々の業務が軽減されました。また教頭先生が、すべてのクラスでアレルギー対応が行われていることを毎日必ず確認するようになっていました。

■ 今後の計画

テスト導入が3月末で終了し、4月7日に記者発表が行われました。全国初のチャレンジとして多数の報道がなされ、輪之内町全体（3小学校、1中学校）での本格導入が検討されています。仁木小学校では、本格導入が決定されるまでテストを延長し、システムの利用を継続しています。

■ 岐阜県教育委員会体育健康課の談話

食物アレルギーの事故防止は子ども達の命にかかわる重要な課題で、県教育委員会としても積極的に取り組んでいます。事故防止対策は多角的に行う必要があり、その意味で仁木小学校の取組はITを活用した新たな対応策の一つであると考えてい

ます。仁木小学校に限らず、各市町村においてさまざまな対応が工夫されています
ので、県教育委員会としては手引書の作成や研修会の開催など積極的な支援を行っ
ていきます。

■ 問い合わせ先

輪之内町立仁木小学校

〒503-0214 岐阜県安八郡輪之内町海松新田 827

教頭 増田 浩志

電話 0584-69-2613、 Fax 0584-69-4446

株式会社スフィアプロジェクト

〒503-0807 岐阜県大垣市今宿 6-52-16 ソフトピアジャパン

代表取締役 岡本 裕幸

電話 0584-71-8638、 Fax 0584-71-8637

E-Mail info@sphereproject.co.jp

<http://www.sphereproject.co.jp/solution/index.html>